

介護予防の観点から見た韓国の介護保険制度の実施状況

金 賢植¹⁾ 李 恩兒²⁾ 原田和弘^{1) 3)} 中村好男²⁾

¹⁾早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

²⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

³⁾日本学術振興会

キーワード: 高齢者、介護保険制度、介護予防サービス、老人総合福祉館

抄 録

韓国では2008年7月から長期療養保険制度(以下、介護保険制度)が実施され、高齢者の日常生活機能低下の予防を目的とした事業の重要性がますます高まっている。このような事業が普及することで、高齢者の健康増進や健康関連 QOL 向上のみならず、健康保険や介護保険の財政安定を期待することができる。本研究では、韓国における介護予防政策の普及・発展に寄与するために、韓国介護保険制度を紹介すると共に、介護予防の観点から老人総合福祉館の実施事例を報告することを目的とした。

韓国政府機関による報告書と関連論文から、韓国における介護予防対策の現状について概説した上で、その具体的事例として、原州老人総合福祉館で実施しているプログラムを紹介した。

韓国における介護予防対策は、まだ介護保険制度に含まれていないものの、介護予防の重要性が認識され老人保健福祉事業の試験事業(地方自治体と国民健康保険公団が連携して実施)の中で行われている。また、事例として取り上げた原州老人福祉館では、地域高齢者を対象に、社会教育、福祉厚生、健康増進、老人ボランティア事業など様々なプログラムが実施されていた。今後、韓国において介護予防の普及を進めていくためには、地域保健福祉事業の活性化のためのプログラムの多様化、利用対象者の拡大、等級外者の参加活性化などに寄与する研究が求められる。

スポーツ科学研究, 6, 60-68, 2009年, 受付日: 2009年5月20日, 受理日: 2009年9月13日

連絡先: 金賢植 359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

TEL/FAX: 04-2947-6829 E-mail: poseidon95@toki.waseda.jp